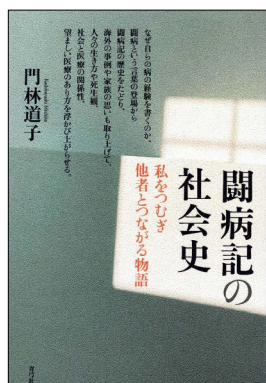




交流する身体 〈病い〉と〈ケア〉の現象学

著：西村ユミ
発行：講談社
定価：1430 円（本体 1300 円＋税 10%）

パーキンソン病・統合失調症・小児・末期ガン・緩和ケア……〈ケア〉という営みは、病む人の苦しみに引き寄せられ、ときに痛みやつらさの表情に押し戻され、それでもその傍らにとどまり続ける態度の中にすでに現れ始めている。看護学生と新人看護師の経験と語りを「鏡」として探る、来たるべき「ケア共同社会」への道しるべが待望の文庫化。



闘病記の社会史 私をつむぎ他者とつながる物語

著：門林道子
発行：青弓社
定価：3740 円（本体 3400 円＋税 10%）

1920 年代に闘病という言葉を生み出した小酒井不木の著作をはじめ、100 冊を超える闘病記を丹念に読み解き、「闘う」から「ともに生きる」へと変化してきた闘病記の歴史をたどる。患者が現実を受け入れて自己の経験を綴る、闘病記という「生の声」に光を当て、人々の生き方や死生観、社会と医療の関係性、望ましい医療のあり方を根本から問い直す。



保健師ジャーナル 電子別冊 「私たち保健師のコアバリューとコアコンピテンシー」【電子版】

編集：『保健師ジャーナル』編集室
監修：日本保健師連絡協議会 発行：医学書院
定価：1980 円（本体 1800 円＋税 10%）

保健師関連団体が合同で作成した「保健師のコアバリューとコアコンピテンシー」。「保健師ジャーナル」に掲載された関連記事と連載の合計 7 本を、電子版として 1 冊にまとめた。3 つのコアバリューと 8 つのコアコンピテンシーごとに、解説だけでなく 4 コマ漫画とコラムを掲載。基礎教育や現任教員など、さまざまな形で活用できる。

手軽な
+1



梅ちゃん流 世直し看護教育論

著：梅川奈々
発行：看護の科学新社 定価：2200 円（2000 円＋税 10%）

学生が看護師を目指す理由はより多様化する一方、看護を取り巻く環境は近年大きく変化し、現場では人手不足や制度の複雑化などの問題が山積している。そうした中、著者は教育者として「なぜ看護師になったのか」「いま大事にしているものは何か」など、問い続けることの重要性を投げかける。答えを示すものではなく、問いを共有し、看護の道を歩み続けることを促す 1 冊。